

平成16年3月4日

少数台数のリコール届出の公表について（平成16年2月分）

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成16年2月は下記のとおり5件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：ヤマハ発動機株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
2月3日	1037	車名：ヤマハ 型式：BA-DG08J 通称名：セローXT225W	33	平成15年12月9日～ 平成15年12月16日
不具合の部位等	座席を取り付けている車枠の溶接が不適切なため、溶接部の強度が不足しているものがある。そのため、そのまま使用を続けると、当該溶接部に亀裂が入り、座席がずれて、運転操作が妨げられるおそれがある。			

2. 届出者：日本輸送機株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
2月5日	1039	車名：ニチユ 型式：221AC等 通称名：トランサー	12	平成15年8月18日～ 平成16年1月6日
不具合の部位等	アクセルペダル角度検出センサの静電気に対する保護構造が不適切なため、フロアプレートに帯電した静電気により、当該センサが作動不良をおこすものがあり、最悪の場合、走行できなくなるおそれがある。			

3. 届出者：アウディジャパン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
2月5日	外-1081	車名：ランボルギーニ 型式：GH-BC10E 通称名：ムルシエラゴ	43	平成13年11月29日～ 平成15年7月2日
不具合の部位等	ステアリングシャフトのユニバーサルジョイント取付ボルトの締め付けが不十分なため、走行時の振動等により当該ボルトが緩むことがある。そのため、ジョイント部にガタが生じ、最悪の場合、ステアリングシャフトが外れてかじ取り操作が出来なくなるおそれがある。			

4. 届出者：日本ゼネラルモーターズ株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
2月6日	外-1085	車名：キャデラック 型式：GH-AK54K等 通称名：セビル等	31	平成14年3月28日～ 平成15年4月11日
不具合の部位等	燃料タンク内の圧力を測定するセンサの設定が不適切なため、圧力の調整が不十分となって燃料タンク内の圧力が過度に上昇することがある。そのため、給油口を開けた際に給油口から燃料が吹き出すおそれがある。			

5 . 届出者：三菱重工業株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
2月26日	1043	車名：三菱 型式：F14E等 通称名：三菱フォークリフト	15	平成15年10月20日～ 平成15年12月24日
不具合の部位等	揺動機構を持つ後軸取付部において、後軸を車体に固定するための取付用プレートの強度が不足しているため、凹凸の激しい路面で使用を続けると、当該プレートが変形し、取付ボルトが緩むことがある。このため、最悪の場合、取付ボルトが脱落し、抜き防止プレートが外れ、後軸が車体から外れて走行不能に至るおそれがある。			

〔参考〕

平成16年2月のリコール届出総件数		内 訳	
		対象台数100台以上	対象台数100台未満
国産車	12件	9件	3件
輸入車	5件	3件	2件
計	17件	12件	5件

対象台数の追加の届出については届出件数に含みません。

(問い合わせ先)

国土交通省自動車交通局技術安全部審査課 リコール対策室 森田、久手 電話 03-5253-8111 (代表) (内線42352・42353)
--